

〈特集〉
外国雑誌の流通
と購入方式

洋雑誌の購入 —MACS 2の導入経験—

荒川 直子

1. はじめに

医学とその関連分野の学問の発展はめざましいものがあり、医療従事者は常に新しい情報や知識を得る必要が生じている。雑誌はその新しい分野、専門分野における最新の情報をタイムリーに提供する事のできる最も身近な情報源であり、その到着（納入）後の整理と未着・欠号雑誌の請求（クレーム処理）の確実・迅速性が要求される。しかしながら、どちらも繁雑さを伴い、特に未着・欠号が生じた場合の処理は、図書室が代理店から定期的に調査を依頼され情報を提供するという、前時代的なシステムとなっていた。

これを改善し、確実・迅速な納入とその後のフォローアップを目的として、丸善および紀伊國屋により1991年から一括納入サービスが開始された。当院でも1992年より丸善の納入サービス「MACS 2」を購読110誌のうち108誌に対して採用した。

本報告では、導入の経緯および1年を経過した時点での前年との比較・現在までの状況について述べる。

2. 導入の経緯

当院において雑誌を配架するためには、1)雑誌が図書室へ届くまで、2)図書室へ届いてから、の2カ所で繁雑さを生じていた。輸送される雑誌

類は、総務課へまとめられ整理されるが、医局向け等と仕分けする際の繁雑さによる誤配が多くみられたこと、事務所のメールボックスに山のように雑誌が入れられ、入りきらないと床へ置かれるなどしており散逸の危険があったこと、それを図書室へ搬送する手間がかかることがあげられた。さらに、図書室において宛名の再確認と開封、整理前に利用希望のあった場合の手続きの繁雑さ、週1回の整理日（配架日）まで保管しておくためのスペースの確保等が問題であった。

MACS 2の導入により、購読雑誌がまとめて図書室まで直接配達されれば、とりわけ配達日を指定し週1回の整理日を配達日と一致させることができれば、届いたその日に雑誌の提供が可能となり、前述の繁雑な問題は解消され、サービス面の向上も図ることができると考えられた。

検討を要した事項は価格面であった。1992年の価格を従来方式の見積書とMACS 2の見積書で比較したところMACS 2の価格の方が若干安価であった。

これら価格面および納入方式の利点に基づき、医局図書係の医師にMACS 2の導入の裁可を求めた。価格が同程度なら実務者のメリットの多い方を採用すれば良いとの回答を得、採用決定に至った。

3. 従来の方式との比較

MACS 2導入後1年間の到着状況、納品状況などの導入前の1年間の実績と比較検討した（価

あらかわ なおこ：愛知県厚生農業協同組合
連合会 更生病院

格は1992年新旧システムの見積書によった)。

対象は当該期間を通じて購読していた洋雑誌102誌(米国-78誌、英国-14誌、ドイツ-5誌、デンマーク・スウェーデン-各2誌、フランス-1誌)であり、1993年4月末現在のデータによった。

(1) 価格

1992年の価格を従来方式の見積書とMACS2の見積書で比較したところ、約1%安価であった。ただし、価格が上昇したものは40誌(全体の39%)あり、従来の航空便24誌、船便16誌が該当した。10%以上上昇したものは14誌で、航空便・船便各7誌あり、米国11誌、英国3誌、うち週刊のものが4誌(米国・英国各2誌)であった。

(表1) 到着状況

	航空便	船便	計
到着の短縮	8誌	25誌	33誌 (32%)
不変	12	7	19 (19%)
到着の遅れ	36	6	42 (41%)
比較不能	6	2	8 (8%)
計	61誌	41誌	102誌

(表2) 同時到着雑誌

1. WEEKLY誌(すべて航空便) [4誌]

	雑誌(上昇率)	92(MACS2)	91
USA	JAMA (16.8%)	10回/22冊	13回/27冊
	NEW ENGLAND J. OF MEDICINE (62%)	9回/20冊	2回/4冊
GBR	LANCET (45%)	10回/21冊	2回/4冊
	NATURE (11%)	3回/6冊	9回/18冊

2. その他(すべてUSA誌) [3/29誌]

雑誌	92(MACS2)	91
ANNALS OF SURGERY (航空便)	2回/4冊	なし
BLOOD (船便)	3回/6冊	なし
CLINICAL CHEMISTRY (船便)	2回/5冊	なし

例「JAMA 10回/22冊」: 同時到着が10回あり計22冊が送付

(2) 到着状況

従来より到着期間の短縮したものが33誌(32%)、ほぼ同じが19誌(19%)、遅れたものが42誌(41%)であった。このほかに、発行の遅れ、発行形態の変更などで比較不能であったものが8誌(8%)みられた。船便で送られる41誌のうち25誌(61%)で到着日数の1ヶ月以内の短縮がみられたが、航空便で送られるものでは逆に61誌のうち36誌(59%)で遅れがみられた(表1)。

(3) 納品

配達日を指定(曜日・午前または午後で指定)したがそのとおりに到着せず、93年4月分においては配達指定日時に到着したものは約50%にすぎなかった。また、指定日が祝日にあたる場合の取り決めをしなかったため、しばしば到着日時が乱れた。

(4) 到着・受け入れ時

図書室へ直接配達されることになったため、総務課は郵便物の山、仕分けの繁雑さから解放され、図書室は搬送の手間、宛名確認、開封の煩わしさがなくなり、また封筒がなくなって廃棄物が減少し、輸送による雑誌の破損・汚れもなくなった。従来は週1回、その週の到着分をアルファベット順に並びかえ検収・受入をおこなっていたが、このシステムではパッケージにまとめられた時点で受入順に並べられており、その分業務が減少した。

配達日時が指定されたことにより業務の予定が立てやすくなり、利用者へのタイムリーな雑誌提供も行えるようになった。

(5) 同時到着雑誌

発行日が異なるにもかかわらず到着が同日であったもの(同時到着雑誌)がみられた。週刊誌4誌のうち2誌は従来の方が同時到着回数が少なく、また、価格上昇率の高い2誌で同時到着が増加している(表2・1)。

週刊誌以外については29誌で同時到着がみられた。このうち15誌は契約変更に関し初回号の発送が遅れ次号と同時到着となったもの、5誌は未着分の該当(月)号との同時到着であった。残る9

(表3) クレーム報告

1.クレーム雑誌数 62誌 188冊
クレーム発行回数 285回

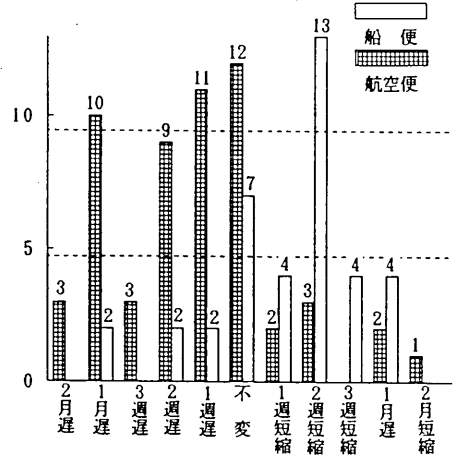
クレーム回数	雑誌数	到着	未着
1回	129	118	11
2回	38	30	8
3回	11	7	4
4回	4	3	1
5回	5	2	3
6回	1	0	1
総計	188	160	28
百分率		85%	15%

2.クレーム報告書発行から雑誌の到着までの日数

到着日数	クレーム回数	~7日	~14日	~30日	~60日	~90日	~180日	~365日	合計
1回	41	19	19	18	11	9	1	1	118
2回	0	0	0	2	3	16	9	9	30
3回以上	0	0	0	0	1	3	8	12	12
総計	41	19	19	20	15	28	18	160	160
百分率(%)		25	12	12	13	9	18	11	100

(2回以上のものは初回発行日を基準とする)

(図1) MACS2変更後の雑誌到着状況



(表4) 未着雑誌におけるクレーム報告と累計報告の実際

雑誌名	巻号	クレーム報告書	累計報告書 4/26	クレーム報告書	累計報告書 7/25	クレーム報告書	累計報告書 10/25	クレーム報告書	累計報告書 1/31	クレーム報告書
Acta Endocrinol	126 SUPPLE-1	92/2/6	記載+	7/21	記載+	報告-	記載-	報告-	記載-	報告-
Acta Endocrinol	126 3	-	-	7/21	記載+	報告-	記載-	10/27	記載+	報告-
Acta Endocrinol	126 4	-	-	7/21	記載+	報告-	記載-	10/27	記載+	報告-
Acta Endocrinol	126 5	-	-	7/21	記載+	報告-	記載-	10/27	記載+	報告-
Acta Endocrinol	126 6	-	-	7/21	記載+	報告-	記載-	10/27	記載+	報告-
Acta Endocrinol	127 1	-	-	-	-	9/29	記載-	10/27	記載+	報告-
Acta Paediatr Scand	81 SUPPLE379	-	-	7/14	記載+	報告-	記載-	報告-	記載-	報告-
Am J Med	92 3A	-	-	-	-	-	-	11/21	記載+	報告-
Cancer Res (Proc Am)	33	-	-	7/14	記載+	報告-	記載+	報告-	記載+	93/2/2
Clin Chemi	38 8A PT1	-	-	-	-	-	-	11/21	記載+	報告-
Clin Chemi(Reference Ed)	38 12	-	-	-	-	-	-	-	-	93/2/23
Endocrinology	130 1	92/4/21	記載+	7/21	記載+	9/19 10/20	記載+	11/17	記載+	報告-
Endocrinology	130 2	92/2/27 4/21	記載+	7/21	記載+	10/20	記載+	報告-	記載+	報告-
Endocrinology	130 3	92/3/24	記載+	7/21	記載+	10/20	記載+	報告-	記載+	報告-
J Bone Joint Surg (Am)	74 A1	92/3/17	記載+	報告-	記載+	報告-	記載+	報告-	記載+	報告-
J Clin Endocrinol Metab	74 2	92/2/20	記載+	報告-	記載+	10/20	記載+	報告-	記載+	報告-
J Electrocardiol	25 SUPPLE	-	-	-	-	-	-	-	-	93/4/9
J Pediatr Surg	27 12	-	-	-	-	-	-	-	-	93/2/23
Kidney	41 SUPPLE35	-	-	6/16 7/21	記載+	9/19 10/20	記載+	11/17 12/15	記載+	報告-
Metabolism	41 9	-	-	-	-	10/6	記載+	報告-	記載+	報告-
Metabolism	41 9-SUPPLE	-	-	-	-	10/6	記載+	報告-	記載+	報告-
Metabolism	41 12	-	-	-	-	-	-	-	-	93/2/9
Neurolog	42 1-SUPPLE1	92/3/17	記載+	7/21	記載+	9/19 10/20	記載+	11/17	記載+	報告-
Neurolog	42 3-SUPPLE2	-	-	5/12	記載+	8/18	記載+	11/17	記載+	報告-
Neurolog	42 4-SUPPLE4	-	-	6/9	記載+	8/18	記載+	11/17	記載+	報告-
Neurolog	42 4-SUPPLE5	-	-	6/9	記載+	8/18	記載+	11/17	記載+	報告-
Neurolog	42 7-SUPPLE6	-	-	-	-	8/18	記載+	11/17	記載+	報告-
Sem Hematol	29 2-SUPPLE1	-	-	6/9 7/21	記載+	9/19 10/20	記載+	11/17	記載+	報告-

記載+: 累計報告書に記載 (CLAIMED) あり
報告+: クレーム報告書に表示あり
日付: クレーム報告書発行日

記載-: 累計報告書に記載なし
報告-: クレーム報告書に表示なし
: 該当せず

(表5) 納品書と累計報告書の不一致および累計報告書送付日

1. 納品書

外国雑誌 納品書

92/09/01 PAGE 2
納品NO.EJO #JM03897

NO. 11 ISSN 0008-543X FRQ.:S-M 9308440
CANCER :U:
1992. 8.15 VOL.70 NO.4..... 1 COPY

2. 累計報告書

1992 外国雑誌 累計報告書

92-10-25 PAGE 6,141
報告NO.EJO #JM0453105

NO. 38 ISSN 0008-543X FRQ.:S-M (24) 93084400
CANCER USA
1992 VOL.69 NO.1..... 1 COPY SENT 92. 6.30
1992 VOL.69 NO.2..... 1 COPY SENT 92. 4. 7
1992 VOL.69 NO.3-6..... 4 COPIES SENT 92. 2.20
1992 VOL.69 NO.6 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92.10.13
1992 VOL.69 NO.7..... 1 COPY SENT 92. 4.21
1992 VOL.69 NO.7 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92. 4.21
1992 VOL.69 NO.8-12..... 5 COPIES SENT 92. 4.21
1992 VOL.70 NO.1..... 1 COPY SENT 92. 7.21
1992 VOL.70 NO.1 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92. 7.21
1992 VOL.70 NO.2..... 1 COPY SENT 92. 8. 4
1992 VOL.70 NO.3..... 1 COPY SENT 92. 8.18
1992 VOL.70 NO.4 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92. 9. 1
1992 VOL.70 NO.5..... 1 COPY SENT 92.10. 6
1992 VOL.70 NO.5 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92.10. 6
1992 VOL.70 NO.6..... 1 COPY SENT 92.10.13
1992 VOL.70 NO.6 SUPPLEMENT..... 1 COPY SENT 92.10.13

(表6) クレーム報告書

1. クレーム報告書と累計報告書

雑誌名	巻	号	クレーム 報告書	クレーム 報告書	クレーム 報告書	累計 報告書	クレーム 報告書	累計 報告書	クレーム 報告書	累計 報告書	累計 報告書	到着
J Clin Endocrinol Metab	74	1	報告- 2/20	報告- 3/24	報告- 4/14	記載+ 4/28	報告+ 7/21	記載+ 7/25	報告+ 10/20	記載- 10/25	- 1/31	10/27
J Clin Endocrinol Metab	74	2	報告+	報告-	報告-	記載+	報告+	記載+	報告+	記載+	記載+	未着
J Clin Endocrinol Metab	74	3	-	報告+	4/7着	-	-	-	-	-	-	4/7
J Clin Endocrinol Metab	74	4	-	-	報告+	記載+	報告+	記載+	報告+	記載+	-	11/9

2. クレーム報告書発行以前の到着分

雑誌名	巻	号	クレーム 報告日	到着
Am J Ophthalmol	113	4	5/19	4/25
J Natl Cancer Inst	84	13	12/1	7/21

誌のうち、6誌は1991年にも同時到着がみられたが、あとの3誌は1991年においては同時到着がみられなかったものであり、新システムでかえって同時到着が増加する結果となった(表2・2)。

4. 現在までの状況

(1) クレーム報告

クレーム処理は62誌・188冊に対して、285回行われていた。うち160冊(85%)ではクレーム後雑誌は到着しているが、28冊(15%)は未着のままであった(表3・1)。

クレーム報告書が発行されてからの到着状況を見ると、クレーム処理を1回のみ行ったのち到着した118冊のうち、60日以内に到着したものは97誌(82%)であった。これ以外の21誌は到着まで最長361日を要したが繰り返してのクレーム処理はなされなかった(表3・2)。

(2) 未着・欠号雑誌

1991年中の未着雑誌は12冊であり、この中で1992年4月時点も未着のものは3冊みられた。新システムになった1992年中の未着(自動クレーム)件数は188冊であり、1993年4月現在未着のものは14誌・28冊と大幅に増加した。

年の最終の累計報告書(1/31)において確実に未着でありながら「CLAIMED」の記載のなかったもの(「記載-」)は2冊あり、「CLAIMED」の記載のされていたもの22冊(「記載+」)のうちその後再度クレーム処理を行ったものは1冊しかなく、それ以外、未着雑誌のクレーム処理は書面上では行われていない(表4)。

(3) 報告書

① 納品書

MACS2導入後の1992年前半で納品書の表示と到着雑誌の異なるものが2件みられ、到着時に照合を必要とした(表5・1)。Cancer 92/9/1付の表示は間違いであり、実際は「VOL.70.NO.4 SUPPLE」が到着していた。ところが10月の累計報告書は「正しく送品されたもの」が表示されており、納品書の間違い表示の「VOL.70.NO.4」はこ

の時点で未着のままであったが累計報告書に「CLAIMED」の記載はされなかった(当方からの連絡でその後クレーム処理された)。年後半にこのような異常はなくなった。

② クレーム報告書

Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism「VOL.74.NO.2」は現在未着のままであるが92/2/20付に第1回のクレーム報告の表示をされてから3/24付、4/14付、7/21付とその他のNo.のクレーム報告が表示されている時に表示されず、10/20に再度クレーム処理されているなど報告に一貫性、継続性がみられない(表6・1)。

また、既に到着しているのにクレーム報告書に表示されているものが2件あった(表6・2)。

③ 累計報告書

年の最終累計報告書でその年の未発行のものは記載されないため、「雑誌一覧」としての機能をはたさない((表4)累計報告書1/31付「-」の分)。

年の最終累計報告書の送付日の表示は「ICOPY」ごとと「VOL.69 NO.8- 12..5 COPIES SENT 92.4.21」とまとめられた日付と二種類の表示があり、区別の意味がはっきりしない((表5・2)累計報告書)。

Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism「VOL.74 NO.1」は、4月・7月の累計報告書で「CLAIMED」の記載がされていたが、10月の累計報告書発行前に代理店側でその雑誌の送付予定が判明していたため、記載されていない(表6・1)。

(表7) 累計報告書

雑誌名	巻号	累計報告書 4/26	累計報告書 7/25	累計報告書 10/25	累計報告書 1/31	到着
Acta Endocrinol	126 SUPPLE-1	+クレーム	+クレーム	-	-	未着
Acta Endocrinol	126 1	+クレーム	+クレーム	-	-	+到着 12/29
Acta Endocrinol	126 SUPPLE-2	+クレーム	+クレーム	-	-	93/2/2
Acta Endocrinol	126 2	+クレーム	+クレーム	-	-	+到着 12/29
Acta Endocrinol	127 3		+クレーム	-	-	+クレーム未着
Acta Endocrinol	126 4		+クレーム	-	-	+クレーム未着
Acta Endocrinol	126 5		+クレーム	-	-	+クレーム未着
Acta Endocrinol	126 6		+クレーム	-	-	+クレーム未着
Acta Endocrinol	127 1			-	-	+クレーム未着
Acta Endocrinol	127 2			-	-	+到着 10/27
Acta Endocrinol	127 3			+到着	-	+到着 10/20
Acta Endocrinol	127 4				-	+到着 12/1
Acta Endocrinol	127 5				-	+到着 93/1/12

+クレーム:CLAIMED 記載あり
+到着:SENT 記載あり
- :記載なし

また、Acta Endocrinologicaのように累計報告書の4月(4冊)、7月(8冊)に各々すべて「CLAIMED」の記載されていたものについて、最新号が10/20に1冊だけ到着したとたん10月の累計報告書からそれ以前の未着分の「CLAIMED」の記載がすべて消えてしまった(表7)。

5. まとめ

価格に関してはわずかな減少をみたが、代理店とユーザーとの関係、支払条件などでさらに値下げは可能と考える。

配達指定が厳守されれば、業務の定型化、利用者へのタイムリーな雑誌提供も可能で、何より到着・受入業務についてはかなり軽減し簡素化した。また、累計報告書より、頁の続いているSUPPLEMENT等が未着・次号でもその存在が明確となる点が利点としてあげられる。

到着までの日数は代理店の案内にあったように船便の1ヵ月短縮が認められたが、航空便の遅れや配送センターでの集荷・事務処理の時間が加わったとしても目にあまる。

週刊誌は「NATURE」を除き、価格上昇率の高いものほど同時到着の割合が多く、MACS2に変更する対象から除外したほうがよい。

クレーム処理の実行頻度はかなり高く、効果はある程度認められるが、2回以上行う場合の基準(期間の幅、複数未着の存在する場合のクレーム処理が同時に行われていないこと等)が不明確である。

未着・欠号雑誌はかなり増えている。代理店の説明では自動クレーム機能がありユーザーの未着・欠号処理を肩代わりしてくれるとのことであるが、コンピューターソフトの不備のためクレーム報告書と累計報告書が連動しておらず、未着・欠号の一覧は累積報告書でしか判明しない。しかもその累計報告書最終版にも記載のない未着・欠号雑誌が2誌認められた((表4)累計報告書1/31「記載 -」)。

このシステムで出力される納品書、クレーム報告書、累計報告書の3種の帳票だけでは、既に発行された(あるいは発行の確定した)雑誌をすべ

て網羅する事はできない。図書室側が未着・欠号をチェックするため雑誌が既に発行されているという報告が必要であり、二重チェックの意味でも時季ごとにまとめた発行済雑誌リスト、発行予定雑誌リストを送付するよう強く要求したい。

6. おわりに

このシステムは雑誌を配架するまでの省力化は認められ、特に専任のいない図書室にとっては十分評価できる。しかし、その後に発生する未着・欠号請求に対しての評価は今一つである。クレーム報告(処理)の基準の不明確さと、これが累計報告書と連動しないシステムの不完全さ、また、納品書と累計報告書の連動に関する不確実性も問題である。

したがって、フロッピーディスク等の媒体によるサービスは、納品書・クレーム報告書・累計報告書の連動とその出力表示の不明確さの解消が行われてから取り入れるべきと考える。本来、このシステムは当院図書室のような専任者の置かれていない所でメリットを発揮するものと考えていたが、専任者の置かれている図書室ほどあらゆるクレームを発する時期が早く、それに対しての代理店側のフォローもされているようであり、他の業務に追われ、クレームを出したくても出せない図書室に対してのサービスがなおざりにされている感があった。

しかしながら、一度採用したシステムを元に戻すのはデメリットが高くなるであろうことは周知の通りで、今後このシステムを利用する図書室が増加することによっていろいろな問題点が取り上げられ、より良いシステムに改良されることを願っている。

《 参考文献 》

- 1) 「薬学図書館」編集委員会：学術雑誌の契約をめぐる-MACS2とアクセス-、薬学図書館、37(4)：288-296、1992
- 2) 斉藤博司：MACS2-丸善外国雑誌一括納入システム、薬学図書館、37(4)：297-302、1992